

## 人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

### 【県立高校が取り組む教育の重点】

- |                 |                |                 |
|-----------------|----------------|-----------------|
| 1 挑戦する意欲を引き出す教育 | 2 学力の向上に向けた取組み | 3 地域を支える人材の育成   |
| 4 幅広い選択肢の確保     | 5 キャリア教育の充実    | 6 多様な生徒の学びの場の確保 |

### 【県立高校再編整備の基本方針】

#### ● 各学科の配置

- (1) 普通科及び普通系の専門学科(理数、体育、音楽、国際)
  - ◆ 8地区ごとに、大学等への進学を希望する生徒への指導体制を整えるために望ましい規模の学校を少なくとも1校配置します。
  - ◆ 必要に応じて、普通科高校(普通系の専門学科との併設校を含む)の再編や「探究科」など新たな学科を設置します。
- (2) 職業に関する専門学科(農業、工業、商業、水産、家庭(含福祉)、看護、情報)
  - ◆ 地域産業や社会の情勢を踏まえ、生徒数の減少に伴う一律的な削減は行わず、全ての学科の学習の場を確保します。
  - ◆ 1学年当たり4学級以上の単独校については、原則として単独校として維持します。
  - ◆ 1学年当たり4学級を下回る単独校については、当面は単独校として維持しながらも、更に小規模化が想定される場合には、他学科との再編を検討します。
- (3) 総合学科
  - ◆ 8地区ごとに、少なくとも1校配置できるよう検討します。
  - ◆ 更なる設置については、生徒・保護者や地域社会のニーズを踏まえて検討します。

#### ● 特色ある学校の配置

- (1) 総合選択制
  - ◆ 学校や地域の実情に配慮し、高校教育における質の確保・向上と学校活力の保持の観点から、小規模化する専門高校等を再編し、学科の枠を超えた学習ができる総合選択制高校の設置を検討します。
- (2) 中高一貫教育
  - ◆ 庄内地区について、東桜学館中学校・高等学校の取組みや、全国の併設型中高一貫教育校の成果を踏まえ、地域の意見を聞きながらモデル校を設置します。
- (3) 普通科単位制(全日制)
  - ◆ 学校独自の科目を含む充実した教育課程を編成し、生徒の多様な進路希望や学習要求にきめ細かく対応する全日制的普通科単位制高校を、8地区ごとに、少なくとも1校配置します。
- (4) 定時制・通信制
  - ◆ 夜間定時制については、状況が整った地区から昼間定時制への移行を検討します。
  - ◆ 多様な生徒が、それぞれの実情に応じて学習の時間帯や形態を選択することができる新しいタイプの高校を、庄内地区に設置します。

#### ● 県立高校の再編整備に関する基本方針

- (1) 再編整備による新しい学校づくりなどを通して、高校として望ましい学校規模(1学年当たり4~8学級)を確保し、教育の質的な向上と学校の活力の保持を図ることを基本とします。なお、1学年当たり4学級を下回る学校については、キャンパス制の導入や地域との連携等により、教育環境の改善に努めます。
- (2) 1学年当たり2学級の学校については、入学者数が2年連続して入学定員の3分の2に満たない場合は、その翌年度から入学定員を1学級分に減じます。ただし、この基準の適用に当たっては、学科等の特殊性や交通事情等の地域の実情に十分に配慮します。
- (3) 1学年当たり1学級の学校<sup>※1</sup>については、学校が所在する市町等の意向を踏まえ、学校関係者及び当該市町等で構成する「学校魅力化に係る地域連携協議会(仮称)」等において、学校の魅力化、活性化策を検討し、3年間を目処として実施します。  
実施後においても、入学者数に増加傾向が見られない場合<sup>※2</sup>は、設置主体を含めた学校の在り方について、地元市町と改めて協議することとします。

※1 この場合、分校も1つの学校と見なします。

※2 目安として、入学者数が2年連続して入学定員の2分の1に満たない場合とします。

【平成27年度～令和6年度の年次計画と各地区の再編整備】 (◎:1学級増 ○:1学級減 ☆:学科改編等 ☒:募集停止 ■:統合 ◆:分校化) 人数は中学校卒業生数及び今後の見込数、○内の数は学級数

学区	平成26年度 学級数	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	令和6年度 学級数
	中学校卒業生数	27年3月卒	28年3月卒	29年3月卒	30年3月卒	31年3月卒	2年3月卒	3年3月卒	4年3月卒	5年3月卒	6年3月卒	対26年度中卒数
東	75学級 東南村山 61 西村山 14 4,369人	○山形中央(普) ○山形西(普) ☆山形東(探②・普④) ☆寒河江(探①・一般④) ○山形南(普) ○上山明新館(普) ○谷地(普)	○山形中央(普)	○山形西(普)	○山形南(普) ○上山明新館(普) ○谷地(普)	○山形南(普) ○上山明新館(普) ○谷地(普)	○左沢(総)		○山形工業(工)	○天童(総)	○左沢(総) 学校魅力化地域連携協議会(左沢)	66学級 東南村山 55 西村山 11 ▲644人
	31学級 北村山 14 最上 17 1,624人	◆新庄神室産業 真室川校 ○新庄南(普) ○北村山(総) ☆新庄北(探①・一般④)	楯岡(普) 東桜学館 中・高	○新庄南(普)	○北村山(総) ☆新庄北(探①・一般④)	○北村山(総) ☆新庄北(探①・一般④)	学校魅力化地域連携協議会 (最上校、金山校、真室川校)	学校魅力化地域連携協議会 (最上校、金山校、真室川校)			○新庄北(全普) ◎新庄神室産(商) ☒新庄南(商)	28学級 北村山 13 最上 15 ▲279人
南	42学級 東南置賜 30 西置賜 12 2,073人	○米沢工業(工) ○南陽(普) ☆米沢興譲館(探②・普③) ☆長井(探①・一般)	○米沢工業(工)	○新庄南(普)	○南陽(普) ☆米沢興譲館(探②・普③) ☆長井(探①・一般)	○小国(普)	○荒砥(総)	○米沢商業(商)	○高畠(総) ☆米沢工業(定) (工→総)	○置賜農業(農)	35学級 東南置賜 25 西置賜 10 ▲356人	
	55学級 田川 32 飽海 23 2,784人	○鶴岡工業(工) ○酒田光陵(商) ☆遊佐(普→総)	○酒田光陵(普)	○庄内農業(農)	○鶴岡北(普) ○酒田西(全普) ☆酒田東(探②・普③) ☆酒西(定)→昼間定	○鶴岡中央(総) ○酒田光陵(工)	☒鶴岡南山添校(普)	☒鶴岡工業(定) ■鶴岡南(通) ○庄内総合(総) 全日、昼間定、通信制併設校	○加茂水産(水)	■鶴南 ■鶴北 致道館 中・高 ○致道館(普) ○酒田西(全普)	42学級 田川 24 飽海 18 ▲653人	
計	203学級 10,850人	2学級減 10,684人	3学級減 10,616人	3学級減 10,610人	4学級減 10,269人	6学級減 9,808人	3学級減 9,630人	なし 9,116人	3学級減 9,327人	3学級減 9,162人	5学級減 8,918人	171学級 ▲1,932人

7年度～  
(2025～)  
次期再編整備  
計画の開始

令和7年度以降の再編整備については、次期再編整備計画の中で新たな基本方針を示す